

11 影響力係数と感応度係数

産業全体に与える生産波及の影響が強い産業は、非鉄金属、輸送機械、業務用機械である。また、他の産業から強い影響を受ける産業は、対事業所サービス、運輸・郵便である。

影響力係数は、どの列部門に対する最終需要があったときに、産業全体に与える生産波及の影響が強いかを、また、感応度係数は、各列部門にそれぞれ1単位の最終需要があったときに、どの行部門が強い影響を受けるかを示す、相対的な指標である。

37部門で産業別にみると、影響力係数は、非鉄金属（1.67）、輸送機械（1.23）、業務用機械（1.22）などで高く、不動産（0.61）、公務（0.75）などで低くなった。

感応度係数は、対事業所サービス（3.20）、運輸・郵便（2.20）などで高く、医療・福祉（0.50）、教育・研究（0.51）、情報通信機器（0.52）などで低くなった。

影響力係数

ある産業に対する需要が産業全体に与える影響の度合いを示す係数で、大きいほど産業全体に対する影響が大きい。

影響力係数 = 逆行列係数表の各列和 / 逆行列係数表の列和全体の平均値

感応度係数

全産業に対する新たな需要による特定の産業の感応度を示す係数で、大きいほど他産業による感応度が大きい。

感応度係数 = 逆行列係数表の各行和 / 逆行列係数表の行和全体の平均値

表 1 影響力係数と感応度係数

《第2象限》	影響力係数	感応度係数	《第1象限》	影響力係数	感応度係数
35 輸送機械	1.225779	0.822429	27 非鉄金属	1.672356	1.733402
31 業務用機械	1.218840	0.593502	26 鉄鋼	1.166041	1.394112
11 飲食料品	1.202048	0.837991	32 電子部品	1.125284	1.268820
34 情報通信機器	1.151693	0.517689	16 パルプ・紙・木製品	1.068119	1.367085
39 その他の製造工業製品	1.076411	0.928732	20 化学製品	1.034523	1.433699
33 電気機械	1.040403	0.660860	22 プラスチック・ゴム製品	1.020805	1.195328
15 繊維製品	1.033956	0.734192			
47 水道	1.012860	0.597484			
29 はん用機械	1.007987	0.655094			
30 生産用機械	1.002930	0.630639			
28 金属製品	1.002170	0.852565			
《第3象限》	影響力係数	感応度係数	《第4象限》	影響力係数	感応度係数
41 建設	0.983187	0.705269	21 石油・石炭製品	0.978002	1.151061
25 窯業・土石製品	0.972039	0.790058	46 電気・ガス・熱供給	0.944021	1.476421
01 農林漁業	0.964098	0.781152	57 運輸・郵便	0.939949	2.202052
06 鉱業	0.952434	0.847963	59 情報通信	0.924613	1.340267
67 対個人サービス	0.923221	0.547185	66 対事業所サービス	0.828090	3.202798
64 医療・福祉	0.874309	0.503282	53 金融・保険	0.816377	1.135086
65 他に分類されない会員制団体	0.843708	0.553270	51 商業	0.767087	1.763776
48 廃棄物処理	0.813089	0.642495			
63 教育・研究	0.772002	0.513873			
61 公務	0.752138	0.560389			
55 不動産	0.614194	0.861240			

注：37部門逆行行列係数表（開放型）による

(影響力係数)

図 1 影響力係数と感応度係数

